

2020年3月23日

福岡市議会議長 阿部真之助 様

福岡市議会改革に向けての要望書

福岡市議会改革市民検証委員会

福岡市議会においては、今期においても、議会改革調査特別委員会が設置され、これから本格的審議が始まろうとしているところですが、昨期からの審議の経緯をつぶさに見てきた私たちは、今期も掲げられたテーマで各会派の認識が進み、合意に至るのはなかなかの困難が予想される場所です。

まずは議会基本条例の制定においてですが、「議会報告会」をどのようなものとしてイメージしどのような形で、始めるのかが問われています。

昨期において、有力5会派からの出席を得て私たち（市民検証委員会）が主催したシンポジウムにおいても議会で決まったことだけしか言えない報告会では自らの会派の意見も市民に報告できず建設的足りない、との意見も出されたところです。

また、私たち市民側からは、報告だけでなく、市民との意見交換会の内実を持ったものにしてほしいとの意見も広く存在します。

こうした現状を踏まえて、ひとつの提案があります。

議会は委員会ごとの視察ほか税金を使った公式の先進地視察を例年おこなっており、それらの報告の実態についても市民はほとんど知り得ない立場に置かれています。視察に行った議員からもなかなか参考になった旨の感想が漏れ伝わってくる程度であり、それが市民に広く知られ、浸透することはなく、福岡市議会の運営や諸施策の改善にどのように繋がっているのかは市民には不明状態なのが現状です。

よって、税金を使って行った視察については、基本的にその報告を市民に対して議会として共同で実施する機会を設けていただけないかと考え、提案させていただきます。

市民に対しての視察報告会の実施が、先進地視察の成果を市民に還元していただくことになると考えます。

またそのことが、「議会報告会」の重要な一部を成し、実効ある議会基本条例の制定にも繋がっていくのではないのでしょうか。

「議会報告会」についての批判的～否定的意見の中に、「報告会やったところで何人が来ると思うのか？せいぜい数十人だろう！ 100万有権者のうち、たった数十人のためにやることにどれだけの意味が有る？」という意見が有ります。

確かに、私たちが昨期参加体験した、北九州市などの議会報告会においても、参加者は数十人でした。

そこで、この視察報告会をインターネット中継していただきたい、という提案をさせていただきます。福岡市議会が初めて実施する視察報告会、そしてそれをインターネットで全市民が見ることができる！このことが実現するなら、福岡市議会の議会改革は大きな反響を呼び、大きな評価を社会的に受けるだろうことは、眼に見えるようではありませんか！

議会特の個別課題として、委員会のインターネット中継も俎上に上っていますが、上記視察報告会のインターネット中継が、委員会のインターネット中継の実現の切り口にもなる、と私たちは考えます。以上、よろしくご検討くださいますようお願いいたします。